

定例記者会見市長挨拶

令和6年6月5日(水)午後3時
庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本市は、本年3月31日に市制施行70周年を迎え、70周年の思い出に残るような、さまざまな記念事業を実施しております。4月に開催された第82期将棋名人戦や成田山車まつりでは、いずれも10年ぶりの開催ということもあり、市内外からも多くの方にお越しいただき、大いに盛り上がりました。

また、この度、第13代目市川團十郎丈をはじめ、本市と深い関わりがあり、各界で幅広くご活躍されている方々に「成田市制施行70周年特別応援大使」に就任していただきました。特別応援大使の皆さまには、今後の記念事業や市のPR事業などにおいて、70周年の節目をさらに盛り上げるため、お力添えいただけるようお願いしており、市民の皆さまをはじめ、多くの方々に、成田市への愛着をさらに深めていただくきっかけになることを期待しております。

次に、不妊治療にかかる先進医療費の助成制度についてですが、体外受精などの特定不妊治療につきましては、令和4年4月より保険診療の対象となったことから、現在は医療保険による経済的負担の軽減が図られているところですが、先進医療にかかる費用は全額自己負担となっております。

このような中、不妊治療における経済的負担のさらなる軽減のため、

本年 4 月から、本市独自の事業として、保険診療と併せて実施した先進医療にかかる費用の助成を開始いたしました。

次に、こども誰でも通園制度の試行的事業の実施 についてですが、国では、すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備するとともに、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「(仮称)こども誰でも通園制度」を新たに創設することとしております。本格実施を見据えた試行的事業の実施自治体として、県内では本市を含む 5 市が採択され、本市では6月から市内公立保育園2園で実施しております。今後とも、子育て世代のニーズを的確に捉え、若者や子育て世帯にとってより魅力的なまちとなるよう、着実に施策を実施してまいりたいと考えております。

6月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。